



【 オーディション（学習発表会に向けて） 】

○ 井波小学校の学習発表会における特色の一つは、「井波っ子チャレンジステージ 2022」です。これは、井波っ子が**授業以外の場で、日頃、主体的に取り組んでいる活動を表現する機会**（演目）を与えるものです。前校長の野原校長先生の時から始まり、今でも続いています。

○ 挑戦したい子供たち、7組が名乗りをあげました。ただし、「井波っ子チャレンジステージ 2022」の発表時間が決まっており、7組全てが出るのが難しいので、昨日、出場する組を決めるオーディションをしました。審査員は、学年主任の先生です。私も見ていました。基準は、「2分半以内」「感動を与えること」です。**感動を与える演技とは、日頃、どのくらい練習をしているか、**見ていて分かります。

○ ダンススクールに通っている子供もいれば、空いた時間に自分（たち）だけで自主練習をしている子供もいます。私は、昨年度見ていて、日頃知らない子供たちの特技があることや、日頃から努力していることに感動しました。そして、井波小学校の目指す「**主体性**」の発揮が、この「井波っ子チャレンジステージ 2022」に表れると信じています。

○ オーディションでは、7組がくじ引きをして順番を決め、一番目から演技をしました。どの組も、「**すごい!**」の一言です。私にはできない演技ばかりです。どの組も、時間内で、感動する演技でした。

○ そこで、結果、挑戦した7組全てを、「井波っ子チャレンジステージ 2022」に出場することにしました。問題の時間の方は、7組全て合わせてもそれほど長時間でなく、出入り等の工夫をし、学年発表も時間の短縮を工夫することで、7組全て出場できると判断しました。また、**子供たちの主体性を大切に**する井波小学校として、選ばないということは可能な限り避けたいと思いました。学習発表会が楽しみです。

